

平成24年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月13日

上場会社名 サイボウズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4776 URL http://www.cybozu.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西端 慶久  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 山田 理 TEL (03) 5805-9035  
 定時株主総会開催予定日 平成25年3月27日 配当支払開始予定日 平成25年3月28日  
 有価証券報告書提出予定日 平成25年3月27日  
 決算補足説明資料作成の有無： 無  
 決算説明会開催の有無： 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期の連結業績（平成24年2月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期	4,140	—	494	—	496	—	245	—
24年1月期	4,225	△20.5	651	△15.4	666	△16.6	397	1.4

(注) 包括利益 24年12月期 273百万円 (△28.5%) 24年1月期 382百万円 (1.2%)

	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益		自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円	銭	円	銭	%	%	%
24年12月期	509	46	—	—	5.7	8.9	12.0
24年1月期	761	6	—	—	8.3	11.1	15.4

(参考) 持分法投資損益 24年12月期 ー百万円 24年1月期 ー百万円

(注) 平成24年12月期は決算期変更を行ったため、11ヶ月の業績となっております。  
 そのため対前期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭
24年12月期	5,426		4,063		74.9	8,470	49
24年1月期	5,672		4,588		80.9	9,173	89

(参考) 自己資本 24年12月期 4,063百万円 24年1月期 4,588百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
24年12月期	735	388	△797	2,100
24年1月期	787	△136	△848	1,756

2. 配当の状況

	年間配当金						配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)		
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末					期末	合計
	円	銭	円	銭	円	銭					
24年1月期	—	—	00	00	—	—	398 00	398 00	199	52.3	4.3
24年12月期	—	—	00	00	—	—	256 00	256 00	122	50.0	3.0
25年12月期(予想)	—	—	00	00	—	—	323 00	323 00		50.0	

3. 平成25年12月期の連結業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,760	—	460	—	480	—	300	—	644.39

(注) 平成24年12月期は決算期変更を行ったため、11ヶ月の業績となっております。  
 そのため対前期増減率は記載していません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期	527,578株	24年1月期	527,578株
② 期末自己株式数	24年12月期	47,881株	24年1月期	27,381株
③ 期中平均株式数	24年12月期	481,707株	24年1月期	522,939株

(参考) 個別業績の概要

1. 平成24年12月期の個別業績（平成24年2月1日～平成24年12月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期	3,877	—	291	—	302	—	△26	—
24年1月期	4,013	0.0	556	△30.6	568	△32.1	424	△15.9

	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
24年12月期	△56	1	—	—
24年1月期	810	89	—	—

(注) 平成24年12月期は決算期変更を行ったため、11ヶ月の業績となっております。  
そのため対前期増減率は記載していません。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
24年12月期	5,132		3,769		73.4	7,857	74	
24年1月期	5,679		4,594		80.9	9,184	99	

(参考) 自己資本 24年12月期 3,769百万円 24年1月期 4,594百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ「1 (1) 経営成績に関する分析」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析 .....	2
(1) 経営成績に関する分析 .....	2
(2) 財政状態に関する分析 .....	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 経営方針 .....	5
(1) 会社の経営の基本方針と中長期的な経営戦略 .....	5
(2) 目標とする経営指標 .....	5
(3) 会社の対処すべき課題 .....	5
3. 連結財務諸表 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	10
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 継続企業の前提に関する注記 .....	15
(6) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	15
(セグメント情報等) .....	15
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16

## 1. 経営成績・財政状態に関する分析

### (1) 経営成績に関する分析

#### ① 当連結会計年度の経営成績

IT業界においては、自社のシステムを外部の専門業者に委託する「クラウドコンピューティング」の導入や、スマートフォンなどの「モバイル端末」の利用がいつもの進展を見せるなど、新しい形態でのITサービス活用が普及期に入ってまいりました。

このような状況の下、当社グループは、クラウドサービス事業の強化およびグループウェア製品のさらなる機能強化として、以下のような取り組みを行ってまいりました。

#### ○自社クラウド「cybozu.com」の運用体制を強化

グループウェアをクラウド環境で提供するための自社クラウド基盤「cybozu.com」は、信頼性をさらに高めるため、引き続き開発と運用に投資を続けました。顧客から預かっているデータのバックアップ期間を14日分に延長するとともに、東日本のデータセンターと西日本のデータセンターの両方に保管し、データの保全性を高めました。また、人為的な操作ミスを防ぐため、日々の運用作業における手順書を改善するとともに、緊急的な例外操作においても必ず2人以上の技術者が確認の上で操作を行うよう体制を強化しました。顧客サポートにおいても、夜間や休日でも対応できる障害対応窓口を用意しました。

その結果、平成23年11月の販売開始から1年余りで、すでに約3,000社に利用されるまでに成長しました。

#### ○中小規模向けグループウェア「サイボウズ Office」の機能強化

中小規模向け総合グループウェア「サイボウズ Office」は、情報共有データベースを容易に作成できる「カスタムアプリ」機能をスマートフォンに対応させ、外出時にも活用できるようにしました。グループウェア内のやり取りにおいて、「確認済み」や「いいね」等をボタンクリックだけで返答できる機能を搭載しました。これにより、仕事の現場で多用される「確認」「ポジティブ感情」「残念な感情」など、様々な感情を表現できます。また、グループウェアの利用を楽しくしてくれるデザインの種類を大幅に増やしました。

#### ○中堅・大規模向けグループウェア「Garoon」の機能強化

中堅・大規模向けグループウェア「Garoon」は、部門横断プロジェクトでの情報共有を促進する「スペース」機能を中心に改善・改良を行いました。また、パッケージ版「ガルーン3」の機能を強化する拡張モジュール「パワーアップキット」の提供を開始しました。その結果、カスタマイズニーズの高いお客様に対する適合性が高まり、大規模案件の受注率が向上しました。

#### ○業務アプリ構築クラウド「kintone」の機能強化とエコシステムの拡大

自社クラウド「cybozu.com」では、業務用のWebアプリケーションを簡単な操作で作成・利用できるプラットフォーム・サービス(PaaS)として、「kintone」を提供しています。当連結会計年度においては、他のプログラムから「kintone」のデータを入出力するためのAPI(Application Programming Interface)を公開しました。その結果、他システムと容易に連携できるようになりました。また、「kintone」を使ったソリューション開発を促進するため、新たなパートナー制度を開始しました。さらに、「kintoneアプリストア」を開始し、第三者が作成した業務アプリをダウンロードして再利用できるようにしました。

#### ○グループメーラー「メールワイズ」をクラウド化

メールを共有しグループでの対応を実現するグループメーラー「メールワイズ」をバージョンアップしました。パッケージ版だけでなく、「cybozu.com」のサービスの一つとして提供することにより、ITの専門家がいらない中小企業での導入が容易になりました。

#### ○無料コラボレーションツール「サイボウズLive」の無料枠を拡大

企業間プロジェクトやボランティア団体などで幅広く活用されている「サイボウズLive」の無料枠を拡大し、1グループ200名1GBまで無料で利用できるようにしました。また、iPhoneやAndroid搭載スマートフォン専用アプリケーションの使い勝手を向上しました。その結果、利用者は40万人を突破しました。

これらの活動の結果、株式会社ノークリサーチから発表された「2012年版 中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価レポート」において、6年連続で国内グループウェア市場シェア1位という結果になりました。また、「2012年版 SaaS/クラウド市場の実態と中期予測レポート」では、「コラボレーションや顧客管理目的での導入済み/導入予定のクラウドサービス」として、先行する欧米のクラウドサービスを抜いて1位となりました。

そのほか、チームワーク向上を啓蒙するブランディング活動を継続して行っています。その一環として、平成24年を代表する優れたチームを選考し表彰する「ベスト・チーム・オブ・ザ・イヤー2012」に特別協賛いたしました。

このような状況下において、当連結会計年度の連結業績については、月額課金制のクラウド版の提供開始によるパッケージ販売上への下押し圧力の影響が想定より少なく、Officeシリーズ・ガルーンシリーズともにパッケージ販売が計画を上回って推移し、連結売上高は4,140百万円となりました。利益項目につきましては、売上成長を目指し積極的な開発投資や広告宣伝投資を行なったため、利益率は前期に比べ低下し、営業利益は494百万円、経常利益は496百万円となりました。特別損益項目に関しましては、投資有価証券評価損23百万円、関係会社株式売却損11百万円、寄付金10百万円を特別損失として計上したこと等から、当期純利益は245百万円となりました。

なお、当社は、当連結会計年度より連結決算日を従来の1月31日から12月31日に変更いたしました。これにより、当連結会計年度は2月1日から12月31日までの11ヶ月決算となりました。そのため、業績に関する前期比増減のご説明を省略させていただいております。

## (2) 財政状態に関する分析

### ① 資産、負債、純資産の状況

当連結会計年度における総資産は、自己株式取得により現預金等の流動資産が減少したこと等から、前連結会計年度末に比べ246百万円減少の5,426百万円となりました。

負債については、複数年間含む年間サービス契約に対する前受金や賞与等の未払費用が増加したこと等から、前連結会計年度末に比べ279百万円増加し1,363百万円となりました。

純資産については、当期純利益を245百万円計上したものの、当連結会計年度において自己株式を599百万円取得したこと、また199百万円の剰余金配当を実施したこと等から、前連結会計年度末に比べ525百万円減少し4,063百万円となりました。

また、当連結会計年度の自己資本比率は前連結会計年度末より6.0ポイント減少し、74.9%となりました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末より343百万円増加し、2,100百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動による資金収支は、735百万円の収入となりました。これは税金等調整前当期純利益434百万円を計上したこと、複数年間含む年間サービス契約に対する前受金が139百万円増加したこと等によるものです。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動による資金収支は、388百万円の収入となりました。これは譲渡性預金の償還等によるものです。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動による資金収支は、797百万円の支出となりました。これは自己株式の取得による支出があったことや、剰余金の配当を実施したこと等によるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成21年1月期	平成22年1月期	平成23年1月期	平成24年1月期	平成24年12月期
自己資本比率 (%)	52.8	71.7	79.8	80.9	74.9
時価ベースの 自己資本比率 (%)	125.3	315.0	191.7	198.4	217.6
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	1.2	0.5	0.1	—	—
インタレスト・カバレ ッジ・レシオ (倍)	43	59	419	—	—

\* 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

4. 平成24年度1月期及び平成24年12月期において、有利子負債を保有しておらず、また利息の支払いもないため、キャッシュフロー対有利子負債比率及びインタレスト・ガバレッジ・レシオを記載しておりません。

③ 次期の見通し

次期の通期業績見通しに関しましては、連結売上高は、4,760百万円を予想しております。また利益項目については、次期においても、クラウド関連サービスの開発や広告宣伝に積極的に投資する計画であることから、連結営業利益は460百万円、連結経常利益は480百万円、連結当期純利益は300百万円を予想しております。なお、期中に投資計画等を前倒しあるいは後倒しして実行することがあるため、第2四半期累計期間の連結業績を予想することが困難であることなどから、現段階では第2四半期累計期間の連結業績予想は開示しない方針です。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は次の基本方針に基づき株主の皆様へ利益を配分いたします。

① 中長期的な「企業価値の最大化」のため、効率的な事業運営による収益力の向上や財務体質の一層の強化、設備投資や研究開発などの長期投資のための内部留保を確保することを第一としたうえで、業績動向や財務状況等を勘案して安定的な利益還元を継続を目指していきます。

② 当期の配当に関しては、連結当期純利益の50%の配当性向を目処に256円とさせていただき予定です。なお、本年3月に開催の定時株主総会において、承認可決されることが前提です。

なお、平成25年12月期の年間配当については、1株当たり323円を予定しております。

## 2. 経営方針

### (1) 会社の経営の基本方針と中長期的な会社の経営戦略

当社グループは、企業理念として「情報サービスをとおして世界の豊かな社会生活の実現に貢献する」を掲げております。情報サービスの大衆化を果たすために、より多くの人に対して当社グループの製品、サービスを利用いただき、取引先企業および消費者の満足度を高めてまいります。また、当社は中長期のビジョンとして「グループウェア事業世界トップシェア」を掲げて世界中のチームワークを向上していくことを目指しております。

当社グループは常に、株主、顧客、従業員、社会の各ステークホルダーとバランスのよい関係を構築し、経営基盤の強化に努めております。絶えず、ステークホルダーのニーズの理解に努め、新しい価値を創造し続けることで社会に貢献し、長期的に企業価値の向上を図ることができると考えております。

### (2) 目標とする経営指標

当社グループの重視する経営指標は、①売上高、②売上高経常利益率です。「永続的成長」のために、連結売上高成長率10%以上を目標とし、連結経常利益率目標を10%程度まで下げてでも、成長のための投資をしていく方針です。

### (3) 会社の対処すべき課題

テクノロジーの急速な進化、顧客ニーズの多様化、セキュリティへの対応など、グループウェア事業における外部環境は日々大きく変化しております。そのような中、当社グループは以下の課題に取り組んでまいります。

#### ○新規顧客の獲得

自社クラウド基盤「cybozu.com」の安定運用を継続し信頼度をさらに高めるとともに、クラウドサービスの広告宣伝や営業活動を強化することで、新規顧客の開拓を進めます。また、大企業の個別ニーズに対応できるよう、製品やサービスの適合性をさらに高めます。海外市場に関しては、「cybozu.com」をアメリカや中国で販売できるよう準備を進めてまいります。

#### ○付加価値の向上

クラウドサービスの機能強化とエコシステムの拡大を進め、付加価値の向上に努めます。具体的には、業務アプリ構築基盤「kintone」のカスタマイズ性を高めるプログラミング環境を提供開始するとともに、ソリューション開発パートナーの数を増やし、多様な顧客ニーズに応えられるプラットフォームとして発展させます。

#### ○継続サービスの推進

クラウドサービスを充実させることで、継続利用者の拡大を図ります。また、パッケージ製品についても定期的な改善を継続することで、顧客満足度を高め、競合製品への乗り換えを防止します。

また、これら、クラウド事業及びグローバル化を推進していくために、多様化する働き方に対応しながら、人事評価の仕組みや、人材育成のためのインフラの整備等を進め、より多くの人々が、より成長して、より長く働ける環境整備をすすめ、チームでの生産性の長期的な向上をめざしていきたいと考えています。

3. 連結財務諸表  
 (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当連結会計年度 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,756,902	3,400,668
受取手形及び売掛金	683,318	700,481
有価証券	2,000,000	—
仕掛品	1,668	1,042
原材料及び貯蔵品	15,097	10,401
繰延税金資産	32,481	63,577
前払費用	44,722	43,687
その他	17,156	20,731
貸倒引当金	△992	△946
流動資産合計	4,550,354	4,239,643
固定資産		
有形固定資産		
建物	145,106	153,344
減価償却累計額	△84,792	△91,682
建物(純額)	60,313	61,662
工具、器具及び備品	502,478	594,591
減価償却累計額	△337,547	△414,411
工具、器具及び備品(純額)	164,931	180,180
有形固定資産合計	225,245	241,842
無形固定資産		
のれん	4,458	2,233
ソフトウェア	84,339	96,723
ソフトウェア仮勘定	45,580	79,691
その他	8,726	8,292
無形固定資産合計	143,105	186,941
投資その他の資産		
投資有価証券	486,328	442,561
敷金及び保証金	151,875	163,973
繰延税金資産	111,100	132,414
破産更生債権等	3,294	3,432
その他	4,952	20,580
貸倒引当金	△3,294	△4,694
投資その他の資産合計	754,256	758,267
固定資産合計	1,122,607	1,187,052
資産合計	5,672,961	5,426,695
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,839	11,086
未払法人税等	124,080	130,712
役員賞与引当金	6,000	11,000
前受金	571,101	710,954
未払金	227,356	240,229
その他	150,832	259,443
流動負債合計	1,084,209	1,363,425
負債合計	1,084,209	1,363,425



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当連結会計年度 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	613,810	613,810
資本剰余金	976,765	976,765
利益剰余金	3,622,410	3,668,740
自己株式	△599,993	△1,199,979
株主資本合計	4,612,992	4,059,336
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△413	656
為替換算調整勘定	△23,827	3,277
その他の包括利益累計額合計	△24,240	3,933
少数株主持分	—	—
純資産合計	4,588,752	4,063,270
負債純資産合計	5,672,961	5,426,695

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年 2月 1日 至 平成24年 1月 31日)	当連結会計年度 (自 平成24年 2月 1日 至 平成24年 12月 31日)
売上高	4,225,344	4,140,539
売上原価	323,950	328,396
売上総利益	3,901,393	3,812,143
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	398,544	457,380
給料及び手当	1,027,643	1,148,319
業務委託費	202,522	158,666
研究開発費	470,921	246,131
貸倒引当金繰入額	115	1,686
役員賞与引当金繰入額	6,889	12,344
のれん償却額	19,133	2,225
その他	1,124,287	1,290,422
販売費及び一般管理費合計	3,250,057	3,317,177
営業利益	651,336	494,966
営業外収益		
受取利息	3,788	3,217
受取配当金	405	324
受取手数料	2,348	1,730
還付消費税等	—	14,794
助成金収入	3,150	2,300
為替差益	4,723	—
雑収入	3,641	2,180
営業外収益合計	18,057	24,546
営業外費用		
為替差損	—	20,715
自己株式取得費用	2,871	2,475
雑損失	82	292
営業外費用合計	2,954	23,483
経常利益	666,439	496,029
特別利益		
投資有価証券売却益	9,466	—
関係会社株式売却益	160,488	—
貸倒引当金戻入額	252	—
特別利益合計	170,208	—

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年2月1日 至 平成24年1月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年2月1日 至 平成24年12月31日)
特別損失		
固定資産除売却損	2,211	12,910
投資有価証券評価損	—	23,603
関係会社株式売却損	—	11,395
事務所移転費用	3,429	3,890
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	18,734	—
減損損失	10,800	—
寄付金	50,000	10,000
特別損失合計	85,176	61,799
税金等調整前当期純利益	751,471	434,230
法人税、住民税及び事業税	218,212	241,880
法人税等調整額	135,273	△53,057
法人税等合計	353,485	188,822
少数株主損益調整前当期純利益	397,985	245,408
当期純利益	397,985	245,408

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年2月1日 至 平成24年1月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年2月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	397,985	245,408
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	139	1,070
為替換算調整勘定	△15,505	27,104
その他の包括利益合計	△15,366	28,174
包括利益	382,619	273,582
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	382,619	273,582

## (3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年2月1日 至 平成24年1月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年2月1日 至 平成24年12月31日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	613,810	613,810
当期末残高	613,810	613,810
資本剰余金		
当期首残高	976,765	976,765
当期末残高	976,765	976,765
利益剰余金		
当期首残高	3,445,777	3,622,410
当期変動額		
剰余金の配当	△252,182	△199,078
当期純利益	397,985	245,408
連結範囲の変動	30,829	—
当期変動額合計	176,633	46,329
当期末残高	3,622,410	3,668,740
自己株式		
当期首残高	—	△599,993
当期変動額		
自己株式の取得	△599,993	△599,985
当期変動額合計	△599,993	△599,985
当期末残高	△599,993	△1,199,979
株主資本合計		
当期首残高	5,036,353	4,612,992
当期変動額		
自己株式の取得	△599,993	△599,985
剰余金の配当	△252,182	△199,078
当期純利益	397,985	245,408
連結範囲の変動	30,829	—
当期変動額合計	△423,360	△553,656
当期末残高	4,612,992	4,059,336

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年 2月 1日 至 平成24年 1月 31日)	当連結会計年度 (自 平成24年 2月 1日 至 平成24年 12月 31日)
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金		
当期首残高	△552	△413
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	139	1,070
当期変動額合計	139	1,070
当期末残高	△413	656
為替換算調整勘定		
当期首残高	△8,321	△23,827
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△15,505	27,104
当期変動額合計	△15,505	27,104
当期末残高	△23,827	3,277
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△8,874	△24,240
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△15,366	28,174
当期変動額合計	△15,366	28,174
当期末残高	△24,240	3,933
少数株主持分		
当期首残高	28,071	—
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△28,071	—
当期変動額合計	△28,071	—
当期末残高	—	—
純資産合計		
当期首残高	5,055,550	4,588,752
当期変動額		
自己株式の取得	△599,993	△599,985
剰余金の配当	△252,182	△199,078
当期純利益	397,985	245,408
連結範囲の変動	30,829	—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△43,437	28,174
当期変動額合計	△466,798	△525,481
当期末残高	4,588,752	4,063,270

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年2月1日 至 平成24年1月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年2月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	751,471	434,230
減価償却費	123,485	120,532
ソフトウェア償却費	107,970	115,171
減損損失	10,800	—
のれん償却額	19,133	2,225
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	18,734	—
固定資産売却損益 (△は益)	2,211	12,910
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	23,603
関係会社株式売却損益 (△は益)	△160,488	11,395
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△591	1,353
受取利息及び受取配当金	△4,193	△3,541
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,000	5,000
売上債権の増減額 (△は増加)	△66,420	△10,884
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,612	5,322
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,268	6,246
未払金の増減額 (△は減少)	36,452	15,425
前受金の増減額 (△は減少)	48,653	139,852
その他	122,674	87,158
小計	997,012	966,003
利息及び配当金の受取額	4,193	3,541
法人税等の支払額	△219,236	△233,841
法人税等の還付額	5,604	2
営業活動によるキャッシュ・フロー	787,573	735,705
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△133,327	△146,502
無形固定資産の取得による支出	△171,823	△161,121
有価証券の取得による支出	△3,500,000	—
有価証券の売却及び償還による収入	3,500,000	2,000,000
投資有価証券の取得による支出	△5,900	△13,700
関係会社株式の売却による収入	—	24,185
敷金及び保証金の差入による支出	△4,489	△18,018
敷金及び保証金の回収による収入	41,969	3,509
定期預金の預入による支出	—	△2,300,000
定期預金の払戻による収入	—	1,000,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	136,743	—
その他	104	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△136,723	388,360

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年 2月 1日 至 平成24年 1月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年 2月 1日 至 平成24年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△599,993	△599,985
配当金の支払額	△248,923	△197,409
財務活動によるキャッシュ・フロー	△848,917	△797,395
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,824	17,095
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△202,890	343,765
現金及び現金同等物の期首残高	1,926,962	1,756,902
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	32,830	—
現金及び現金同等物の期末残高	1,756,902	2,100,668



(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

当社グループは、グループウェアを中心とするソフトウェアの開発・販売を主な事業とする単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

b. 関連情報

前連結会計年度（自 平成23年2月1日 至 平成24年1月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高
株式会社大塚商会	635,830千円

(注) 当社グループは、グループウェアを中心とするソフトウェアの開発・販売を主な事業とする単一のセグメントであるため、関連するセグメント名の記載を省略しております。

当連結会計年度（自 平成24年2月1日 至 平成24年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高
株式会社大塚商会	546,586千円

(注) 当社グループは、グループウェアを中心とするソフトウェアの開発・販売を主な事業とする単一のセグメントであるため、関連するセグメント名の記載を省略しております。

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度（自 平成23年2月1日 至 平成24年1月31日）  
当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 平成24年2月1日 至 平成24年12月31日）  
当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度（自 平成23年2月1日 至 平成24年1月31日）  
当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 平成24年2月1日 至 平成24年12月31日）  
当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

前連結会計年度（自 平成23年2月1日 至 平成24年1月31日）  
該当事項はありません。

当連結会計年度（自 平成24年2月1日 至 平成24年12月31日）  
該当事項はありません。

（1株当たり情報）

前連結会計年度 （自 平成23年2月1日 至 平成24年1月31日）		当連結会計年度 （自 平成24年2月1日 至 平成24年12月31日）	
1株当たり純資産額	9,173円89銭	1株当たり純資産額	8,470円49銭
1株当たり当期純利益	761円6銭	1株当たり当期純利益	509円46銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、 潜在株式が存在しないため、記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、 潜在株式が存在しないため、記載しておりません。	

（注） 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 平成23年2月1日 至 平成24年1月31日）	当連結会計年度 （自 平成24年2月1日 至 平成24年12月31日）
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益（千円）	397,985	245,408
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る当期純利益（千円）	397,985	245,408
期中平均株式数（株）	522,939	481,707

（重要な後発事象）

該当事項はありません。